



## 低炭素ライフスタイル構築に向けた診断促進事業

2019年度要求額  
100百万円（100百万円）

### 背景・目的

- 家庭からの温室効果ガス排出量は2013年度に1990年度比で5割以上も増加している。
- 各家庭での意識向上をCO<sub>2</sub>削減行動へつなげ、低炭素ライフスタイルへの転換を図るために、ライフスタイルに応じた具体的・効果的なアドバイスが必要。
- 本事業では、家庭における着実な省エネを実行するための診断事業を行い、低炭素ライフスタイルへの転換を促進する。民間企業や地域主体のネットワークを活用し、診断受診世帯において現状から15%以上のCO<sub>2</sub>削減実現を目指す。

### 事業概要

診断を実施するための体制整備として、環境省の示すガイドラインに従い、診断実施機関の管理・支援や診断ソフトの管理・改善等を行う。

### 期待される効果

診断内容の充実により、家庭工コ診断が継続的に実施される環境を創出。2020年度までに累計32万世帯の診断を実施し、家庭部門でのCO<sub>2</sub>削減を推進。

### 事業スキーム

委託対象：民間団体等

実施期間：平成26年度～平成33年度（2021年度）

#### 環境省

- ガイドライン  
・運営体制  
・診断方法  
・診断機関/  
診断士の  
認定方法  
○診断ソフト



#### 事務局

- 診断体制整備**
- 実施機関の管理  
・支援
  - 診断効果の分析
  - 診断ソフト等の  
管理・改善
  - 優良事例の取り  
まとめ 等

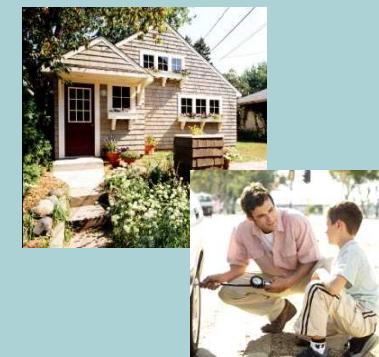


#### 実施機関

- 【対象】**  
民間・自治体・地  
域機関等
- 診断  
・診断士の養成  
・診断士の派遣  
・診断の管理



#### 家庭



着実なCO<sub>2</sub>削減

※個別の診断士については、別途資格試験  
において認定